

日時:5月23日(金)18-20時(開場17:45)

会場: 築地社会教育会館 + オンライン研究会

演題(1):「1755年のリスボン地震と荒川氾濫」

～首都を襲う巨大水害と防災～

講師(1):中瀬勝義様、NPO地域交流センター、元東京久栄(海洋環境調査会社)

概要(1):今から270年前のリスボン地震は、大西洋に及ぶ大地震で、当時の人口27.5万人の1/3が亡くなり、建物は85%が崩壊し、ポルトガルが覇権国から脱落しその後衰退した。いま日本では地球温暖化による台風の大規模化、30年70%の発生確率の首都直下型地震による荒川氾濫により江東5区のマイナス地域250万人が危険だ。国土交通省制作のYouTube[荒川氾濫]によると、北区から決壊し、地下鉄内に流入し、霞が関まで達し、国政もビジネスも1カ月以上も機能不全になる。国・都・自治体の抜本的な防災対策が望まれる。

住民は個別防災対策を作り上げねばならない。

寸評(1):「備えあれば憂いなし」は分かっている。予防費が災害復興費の数%で済むことも知っている。しかし先立つお金がない。災害後なら国の支援が得られるかも知れない。しかし失われた人命と復興期間の経済ロスは取り返せない。しかし能登輪島地震と洪水後の国の支援は遅れたままだ。自助・共助・公助で住宅を高層化するのはどうか。

.....

演題(2):「誰でもできる日本を良くし歴史に名を遺す活動」の提案

～逞しい人や有能な政治家が少なく、貧富格差があり、戦争が続いている～

講師(2):西川慈海理事、J-SCORE 会員、FaceBook 松下幸之助並みの人間育成が日本生き残りの鍵(女性上位を目指す)、たくましい人 推奨の会 発起人、全日本プラス思考協会 発起人、生涯青春研究会 東京・横浜支部 代表

概要(2):現在の社会には問題点が多い。その原因は国民の個人の価値観にもあるが、真に国の将来を思い、国民の幸福を願う政治家の欠如である。アメリカに Change.org という団体がある。パブリック・ベネフィット・コーポレーションと認定されている。その活動を紹介したい。

寸評(2):現在の著名人にはタレントやスポーツ選手が多く、哲学者、芸術家、小説家、詩人が思い浮かばない。かつての卒業式の定番の「仰げば尊し我が師の恩」に「身を立て名をあげ、やよ励めよ」という一節があるが、立身出世主義が民主主義的ではないのか、最近では歌われない。アメリカでは会社は株主のものだという株主資本主義が強く、従業員の給料よりも株主への配当が多い。それに対して日本では「会社は従業員のものだ」と思っており新入社員が「わが社では・・・」と言う。経

営者も株主から解任動議が出るのを恐れて、公益資本主義を主張することができない。政治家も「新しい資本主義」を唱えたが、選挙が終わると忘れてしまった。

【C】お知らせ

【予告】22世紀学会創設 10 周年記念論文集

「日本の未来計画」

(電子書籍: 定価 1000 円)が5月中に出版されます。

連絡先: kyol@outlook.jp

- ①入会申込: 入会希望者は「入会申込書」をお送り願います。
- ②講演申込: 講演希望者は「自己紹介」と「発表内容」をお送り願います。講演は無料です。講師は当日の研究会費と交流会費は無料です。
- ③年会費: 入会金は不要で、年会費は年 6000 円で、入会日から1年間有効です。延長も可能です。
- ④研究会費: 初めての参加者と22世紀学会会員は 1000 円、それ以外の方は 2000 円です。
- ⑤特別割引: 年会費 6000 円に研究会費4回分の 4000 円を加えて 1 万円を納入すると研究会に 12 回出席できます。8000 円の割引になります。毎回銀行に行く手間と振込手数料が1回だけで済みます。ご利用願います。

納入先: 三井住友銀行センター南支店 普通0213110 22世紀学会 代表 柳下和夫

送金手数料: 納入者が負担願います。

お問合せ先: 22世紀学会事務局: kyol@outlook.jp

【編集後記】欄を【理事長のつぶやき】と【会員サロン】に改編します。【会員サロン】は会員の投稿をお待ち申し上げます。「私の主張」「私の主催イベントの PR」「こんな新事業を始めました」「私のサイトを見て下さい」「こんなものありませんか」「こんなものがあれば譲って下さい」「こんな面白そい YouTube がありますよ」などなどを 300 字以内で投稿下さい。氏名、投稿年月日、連絡先メールアドレス、電話を書いて下さい。送り先: kyol@outlook.jp

~~~~~

**【理事長のつぶやき】「貧乏人は麦を食え」**

かつて池田勇人大蔵大臣が「貧乏人は麦を食え」と言ったので大問題になった。本当は「所得の少ない人は麦を食べ、所得の多い人はコメを食べるのが経済の原則だ」と言ったのをマスコミが誇張したらしい。

昔の農民は米を作ってもそれは全部地主が藩主に上納し武士だけが米を食べていた。加賀百万石というが、加賀藩は百万石の米を召し上げて武士の身分相応に分配していた。農民は毎日アワやヒエを食べ、米を食べるのは盆と正月と村祭りと言事の日だけだったと民俗学者の柳田国男は書いている。

筆者は 1955 年に大学に入学し学生食堂で食事していると前に座った学生がごはん (30 円) とみそ汁 (2 円) でおかずはなしで、非常にうまそうに食べるので不思議に思い訳を訊くと「俺の村は四国の貧しい漁村で米を食べるのは正月だけだ。病人の枕元で竹筒に入れた米を振って音を聞かせ、元気になったらこの米を食べさせてやる」と言って励ますのだと言う。

日清・日露戦争で日本の兵隊が強かったのは、農家の次男・三男が陸軍の「入隊すれば毎日6合も「銀シャリ」が食べられる」という勧誘に釣られて応募したという。しかし日清戦争では 977 人の戦死者よりも脚気の死亡者の 4000 人の方が多かった。日露戦争では、陸軍の戦死者約4万6千人、脚気患者25万人で脚気による死者が約2万8千人だった。

ドイツで細菌学を学んだ森林太郎陸軍軍医総監は「兵士には1日6合の米を食べさせており副食は少なくとも栄養は十分で、脚気の原因は病原菌に違いない」と思い厨房や食堂の消毒を指示するが、脚気は一向に減らない。ところがイギリスに留学した海軍医務局長高木兼寛はヨーロッパに脚気が無いことを発見し、麦飯を食べさせることにした。すると海軍では脚気死はゼロだった。

それから 100 年後の現在は、教育、特に栄養学の進歩は顕著で、脚気の原因がビタミン B1 不足であることは小学生でも知っている。森林太郎陸軍軍医総監は多忙な軍務の傍ら多くの小説を書き、文豪森鷗外として名を残している。

現在米の価格が高騰している。テレビで、ある主婦は「麦を混ぜて増量しています」と言い、独身らしき若い男性は「カレーライスのカレーうどんに替えました」と池田勇人の経済理論を実行していた。池田勇人は「所得倍増論」で日本を豊かにする業績を残した。われわれ庶民が「三種の神器」の冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビを買い、その後「新・三種の神器」としてカラーテレビ、クーラー、自動車を買えるようになった。

30 年デフレの現在「所得3倍増論」を提示して参議院議員選挙に候補者を立てる政党が出現すると圧勝すると思われるが、そんな名案を考えられる政治家や経済学者はいない

のか。日本にはノーベル経済学賞を受賞者だけが一人もいないので、ないものねだりかも知れない。

~~~~~

★このメールは22世紀学会の会員のお知り合いに BCCでお送りしました。

★貴方のお知り合いにこのメールを転送頂ければ幸甚です。

★今後このメールが不要の方はご連絡お願いします。

kyol@outlook.jp

~~~~~

**【広告】**

# 東京猫美術展 2025 🐾

**猫アートで世界をひっくり返ろ!**  
猫の目で見れば 世界が変わる!

**80名の人気猫アート作家**

**6.17(火) - 6.23(月)**  
11:00 ~ 19:00 (23日は15:00まで)

**六本木ストライプスペース**  
港区六本木 5-10-33 六本木駅 徒歩4分

**猫作家と出会う 買える 楽しめる**

アート (現代アート・洋画・デジタル版画・墨絵)  
メディアミックス (マンガ・アニメ原画・イラスト)  
クラフト (工芸・ハンドメイド・グッズ・人形)  
猫好き芸能人作家作品

●猫アート作品展示 ●猫作家ショップ

- ・新発売「東京猫美術図鑑 2025」
- ・演奏・投稿猫アートコーナー など

**入場無料・カード決済可能**

主催：香プロダクション合同会社



詳細はこちら

~~~~~

発信人 22世紀学会 理事長 柳下 和夫

〒224-0052 横浜市都筑区二の丸 17-4

URL: <http://22ca.org/>

メールアドレス: kyol@outlook.jp

電話: 045-948-1698

以上